



平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マルマエ

コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 藤山 敏久

TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	1,188	31.1	207	74.0	198	56.5	208	67.4
25年8月期第3四半期	907	5.2	119	111.7	126	286.3	124	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	119.33	84.56
25年8月期第3四半期	71.29	—

(注) 当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第3四半期	1,739	301	17.3
25年8月期	1,660	93	5.6

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 301百万円 25年8月期 93百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年8月期の業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	29.0	200	57.8	185	43.9	232	183.3	132.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年8月期3Q	1,854,000 株	25年8月期	1,854,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年8月期3Q	109,400 株	25年8月期	109,400 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期3Q	1,744,600 株	25年8月期3Q	1,744,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第 3 四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクが残り、消費税率引上げに伴う駆け込み需要による反動の影響もあって個人消費や生産に弱い動きもみられますが、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益や設備投資及び雇用情勢は改善し、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社の主な販売分野であるFPD業界におきましては、テレビ向けの液晶パネルに関連する大型液晶パネルの設備投資が一部で進みながらも、スマートフォンやタブレットPC向けの中小型液晶パネルの設備投資は低調に推移しました。半導体業界におきましては、PC需要にくわえて自動車や産機系等幅広い分野向けに需要は堅調に推移し回復基調が続きました。

当社は、このような経済状況のもと、FPD分野では独自技術を生かし、液晶製造装置メーカーからの真空装置部品を中心に受注を獲得しました。半導体分野では、需要が堅調に推移するなか、既存顧客からの受注品種拡大に注力し成果を上げました。また、半導体市場の拡大傾向に合わせて生産体制の整備と強化を図っております。その他分野では、新規に光学関連の装置メーカーとの取引を開始し大口案件を獲得しました。損益面では、受注品種の変化と外注活用により、変動比率が増加するなか、売上高増加と生産性向上により営業利益は前年同期を大きく上回りました。なお、特別利益として補助金収入を10百万円計上しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高が1,188百万円(前年同期比31.1%増)、営業利益は207百万円(前年同期比74.0%増)、経常利益は198百万円(前年同期比56.5%増)、四半期純利益は208百万円(前年同期比67.4%増)となりました。

なお、当社は精密切削加工事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

前事業年度末に比べ、79百万円増加し1,739百万円となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金が172百万円、電子記録債権が33百万円、たな卸資産が37百万円、有形固定資産2百万円増加、現金及び預金が161百万円、その他流動資産が4百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

前事業年度末に比べ、128百万円減少し1,438百万円となりました。主な内容は、買掛金が23百万円、その他流動負債が25百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が115百万円、長期借入金60百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

前事業年度末に比べ、208百万円増加し301百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が208百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の5.6%から17.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期通期業績予想につきましては、平成26年6月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しております。

売上高は、FPD分野では厳しい市場環境が続きながらも、半導体分野において受注品種の増加傾向が続き受注が好調に推移していることと、その他分野において光学関連の新規案件の受注が増加傾向にあることから増額修正しました。損益面は、売上高の増加と生産性の向上等から、営業利益、経常利益および四半期純利益ともに期首予想を上回る見込みとなりました。なお、特別利益としては「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」の10百万円、電子ビーム溶接機の譲渡による売却益38百万円を計上する見込みとしております。

第4四半期の業績も概ね順調に推移する見込みとなっておりますが、受注動向の見極めなど現在精査中であり、業績予想修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 8 月 31 日)	当第 3 四半期会計期間 (平成26年 5 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	326,805	165,776
受取手形及び売掛金	283,174	455,680
電子記録債権	87,237	120,626
商品及び製品	6,903	15,822
仕掛品	33,056	57,644
原材料及び貯蔵品	446	4,808
その他	10,412	5,760
貸倒引当金	△943	△1,467
流動資産合計	747,093	824,652
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	297,209	284,531
構築物(純額)	6,414	4,848
機械及び装置(純額)	230,667	286,454
車両運搬具(純額)	2,948	2,189
工具、器具及び備品(純額)	3,032	3,233
土地	289,783	289,783
リース資産(純額)	800	—
建設仮勘定	67,692	30,000
有形固定資産合計	898,548	901,042
無形固定資産	6,060	5,860
投資その他の資産	8,570	8,263
固定資産合計	913,179	915,165
資産合計	1,660,273	1,739,818
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,747	43,811
1年内返済予定の長期借入金	176,802	60,986
未払法人税等	5,283	3,585
受注損失引当金	1,500	3,300
その他	56,700	82,087
流動負債合計	261,033	193,770
固定負債		
長期借入金	1,303,458	1,242,472
資産除去債務	1,598	1,609
その他	600	204
固定負債合計	1,305,657	1,244,286
負債合計	1,566,691	1,438,057

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 8 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成26年 5 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	133,000	133,000
資本剰余金	123,000	123,000
利益剰余金	△162,417	45,760
株主資本合計	93,582	301,760
純資産合計	93,582	301,760
負債純資産合計	1,660,273	1,739,818

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 5 月 31 日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 5 月 31 日)
売上高	907,006	1,188,738
売上原価	654,364	842,902
売上総利益	252,642	345,835
販売費及び一般管理費	133,208	137,978
営業利益	119,433	207,856
営業外収益		
受取利息	101	43
為替差益	20,419	1,631
その他	518	615
営業外収益合計	21,038	2,289
営業外費用		
支払利息	13,307	11,447
その他	304	216
営業外費用合計	13,611	11,664
経常利益	126,860	198,482
特別利益		
固定資産売却益	—	2,152
補助金収入	—	10,000
特別利益合計	—	12,152
特別損失		
固定資産除却損	39	5
特別損失合計	39	5
税引前四半期純利益	126,821	210,628
法人税、住民税及び事業税	2,450	2,450
法人税等合計	2,450	2,450
四半期純利益	124,371	208,178

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)

当社は、精密切削加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。